



令和2年12月26日 中部教育事務所

検証問題 1 (2)

本問は、中心からの距離と方位が正しい地図の特色を基に、経度として正しいものを選ぶ問題。地図の中心はアメリカ合衆国のロサンゼルスで、30度おきに緯線・経線が引かれている。地図におけるイギリスの位置などを手掛かりに、本初子午線を選ぶことができること、東経、西経それぞれに属する大陸や海洋の名称を知っていることが必要である。また、そういった既習の事項を、経線が30度おきに引かれているという条件と結び付け、問題の解決に活用できるかどうか問われている。



R元高知県学力定着状況調査

関連のある問題の概要と結果

1 (2) 中部42.3 % (全国39.9%)

中心からの距離と方位が正しい地図について、読み取れることとして適切なものを選ぶ問題。中心からの距離と方位が正しい地図の特色を読み取れるかどうか問われている。

R元高知県学力定着状況調査

課題の見られた問題の概要と結果

1 (4) 中部36.8 % (全国44.9%)

中心からの距離と方位が正しい地図に示された最短距離を基に、他の地図で示された地点間の最短距離を読み取る問題。それぞれの地図の特色を理解しているかどうか問われている。



地図中の経線から本初子午線を選ぶことができる。



地図を東経と西経に正しく分けることができる。



30度おきに引かれた経線を活用できる。



ロサンゼルの経度を計算できる。

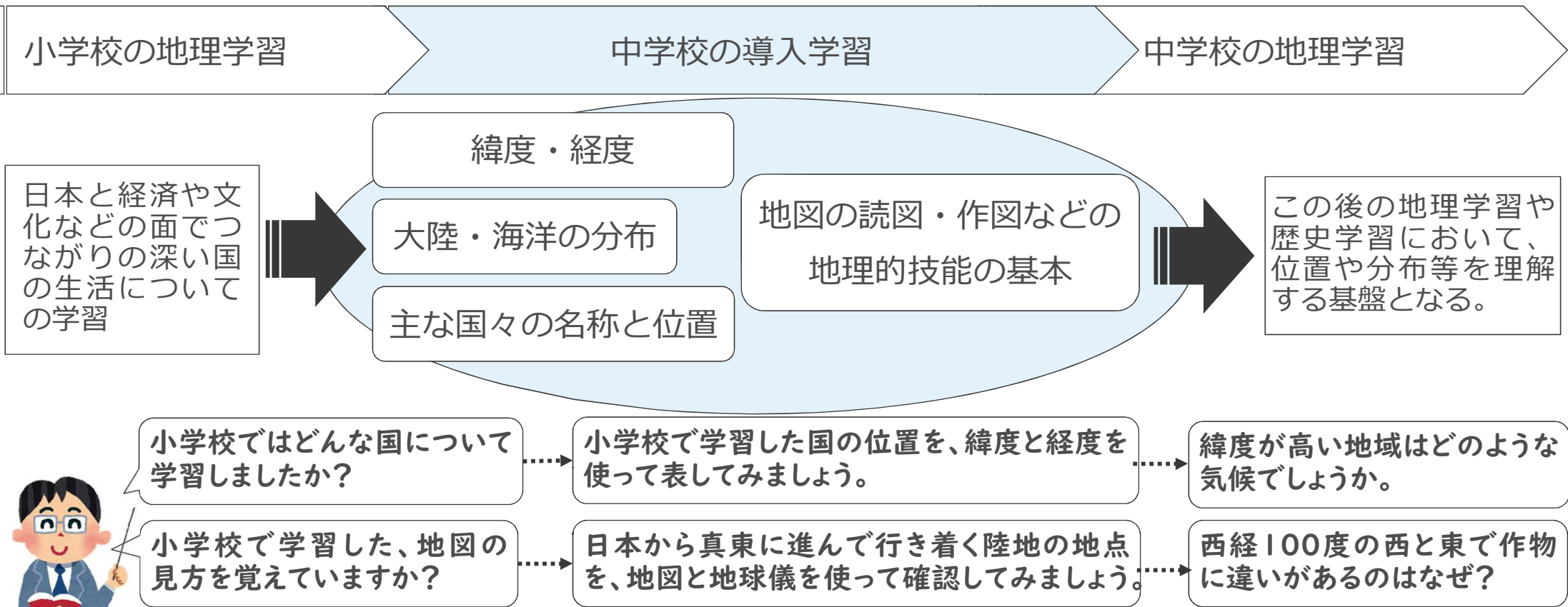
授業の中で、地図や緯線・経線の意味や意義を**多面的・多角的に考察**することで、それぞれの地図の特色や基準となる緯線・経線等についての知識を習得させることが求められる。
(「多面的・多角的に考察する」については授業改善のPoint IIへ！)

授業改善のPoint I 地理的分野の導入部分としての意義を確認する

地理的分野の導入部分に世界と日本の地域構成の基本的な枠組みに関する学習を位置付けていることには、二つの意図がある。一つ目は、世界及び日本の地域構成に関する学習が、世界と日本の**地理的認識の基盤**となること。二つ目は、**小学校の地理的な学習内容を振り返るとともに、地図の読図や作図などの地理的技能の基本を身に付けること**によって、地理学習の楽しさや有用性を確認し、その後の学習を円滑に展開することである。

※中学校学習指導要領解説 社会編p.17には、地理学習の導入部分の意義が述べられています。確認しておきましょう。

□小学校での学習を生かしながら、地理的認識の基盤を形成し、中学校の学習へ接続する



授業改善のPoint II 地球儀や地図を活用した学習活動を設定する

地理的分野の学習で用いられる資料には、地図や統計、写真など様々あるが、その中でも**最も重要な役割を果たしているのが地図である**。現代のように地域間の交流の盛んな時代においては、社会的事象を位置や空間的な広がりなどを考慮して地図上で捉えることは、例えば、人やものの移動や輸送の方法や、それらにかかる時間を考えるうえで効果的であり大切である。地球上の位置を表したり、位置関係を捉えたりすることは、**地理的な見方・考え方を働かせる基盤となる**ことから、そのような**地理的技能の習得状況を見取り、必要に応じて繰り返し指導することが必要**である。

地球儀や地図を活用した学習活動の例（多面的・多角的な考察）

【中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編P40、42・43より】

≧
学
習
活
動
例

大陸と海洋の分布について、各種の地球儀や世界全図、大陸別の地勢図などを活用する。

地球規模の位置関係を捉える手掛かりとなる六大陸と三大洋の大まかな形状と位置関係を理解する。

大陸と海洋の分布を地球儀と世界地図上で比較することで、**地球儀と地図との違いを考察**する。

地球儀で地球上の位置関係や陸地面積、形状を正しく捉える。

地球儀の日本の位置に十字に貼ったテープをあて、東西方向へ進むとどこの国に到達するかを調べて、**世界の主な国が日本とどのような位置関係にあるかを考察**する。

日本の対蹠点（地球上の正反対の地点）を探す。

緯度や経度の仕組みや性質について考察する。

Point 1

経線と緯線が直交する世界地図だけでなく、面積の正しい地図や中心からの距離と方位の正しい地図など、目的に応じた様々な地図があることを取り上げ、それらの特色に留意して読み取る学習活動を通して、適切な活用方法を身に付けること。

Point 2

教室に地球儀や世界地図を置いて、導入以降の地理学習や歴史学習でも継続して活用したり、他教科での学習に生かしたりするなど、折りにふれて活用すること。

関連資料

【文部科学省】

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編p.37～p.43

【文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター】

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校社会）
（国立教育政策研究所ホームページにも掲載されています。）

【高知県】

新教育課程を活かす能力ベースの授業づくり（齊藤一弥・高知県教育委員会編著）

【国立教育政策研究所】

学習指導要領実施状況調査問題（ホームページ掲載）

【文部科学省】

中学校卒業程度認定試験問題（ホームページ掲載）

【文部科学省】

言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】
（ホームページにも掲載されています。）

